

## デートDVってなんだろう？

「DV」とは、英語の「domestic violence（ドメスティック・バイオレンス）」を略したもので、夫婦や恋人などの親密な間柄で行われる暴力のことです。

その中でも交際相手（恋人）からふるわれる暴力を「デートDV」と言います。



## これも・・・デートDV？

「なぐる・ける」だけがデートDVではありません。強い束縛で恐怖心を与えたり、心を傷つけることなども暴力にあたります。

### 精神的な暴力

例えば、こんなこと…

- ◆大声でどなられる
- ◆バカにされる
- ◆無視される
- ◆不機嫌な態度をとられる
- ◆命令される
- ◆友だち関係を制限される
- ◆行動を制限される
- ◆スマートフォンをチェックされる

### 身体的な暴力

例えば、こんなこと…

- ◆なぐられる・たたかれる・けられる
- ◆腕をつかまれる・ひねられる
- ◆髪などを引っ張られる
- ◆物を投げつけられる
- ◆ナイフなどの危険な物をつきつけられる

### 経済的な暴力

例えば、こんなこと…

- ◆いつもお金を払わせられる
- ◆お金を貸せと言われる
- ◆貸したお金を返してくれない

### 性的な暴力

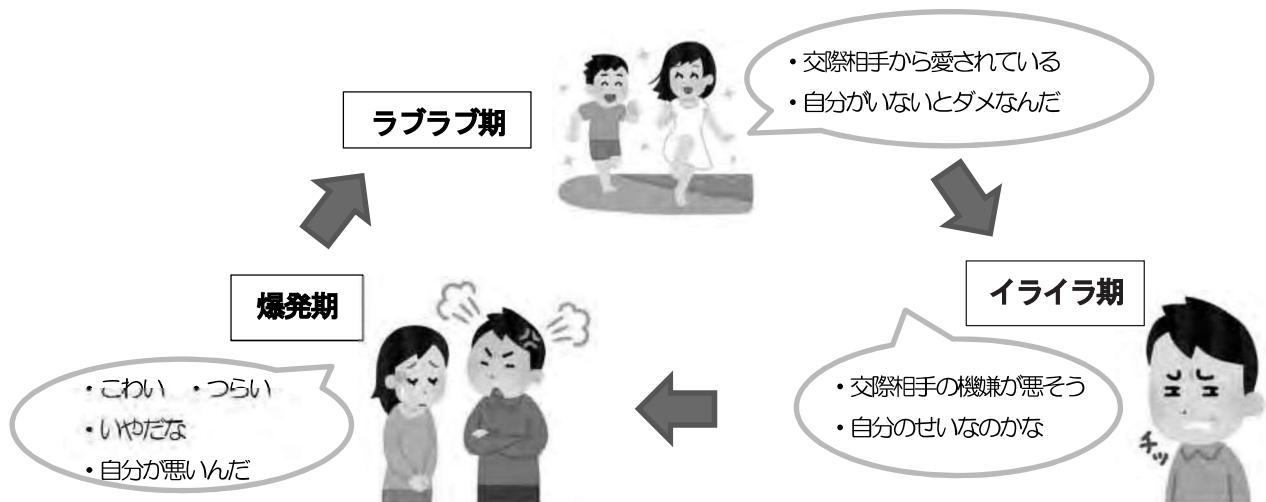
例えば、こんなこと…

- ◆いやなのに体をさわったり、キスしたりされる
- ◆いやなのに裸などを撮影される
- ◆性行為を強要される・避妊に協力してくれない

## デートDVのサイクルってなに？

交際相手は暴力をふるった後で「ごめんね。」「二度としないよ。」「大丈夫だった？」とあやまったり、心配してくれたり、優しくしてくれたり…。

普段はこわくないし、優しいときもあるから、わからなくなってしまふことがあります。しかし、デートDVは暴力が繰り返され、ひどくなることが多いと言われています。



## 2人のよい関係をつくろう！ ～よい関係をつくるヒント～

### 大切なのは“自分らしさ”

男だから、女だから、先輩だから、後輩だから、嫌われるのがいやだから…こんな考えをしていますが？一番大切なのは“自分らしさ”です。あなたの気持ち、考え、体、生き方を大切にしましょう。

### 気持ちを伝える工夫

2人の意見が違ってぶつかったとき、いやなことがあったとき、「自分はこう思う」「自分はこう感じる」と、自分を主語にして気持ちを交際相手に伝えてみましょう。交際相手のことを否定せずに、自分の気持ちを少しずつわかってもらうことができそうです。

### お互いを認め合う対等な関係

2人のことは、一緒に考え、一緒に決めましょう。お互いの意見を尊重し、一緒にいるときも、離れているときも、自分のことも、相手のことも大切にできる関係をつくりましょう。

### DVにあってしまったら・・・

暴力を受けるのは、あなたが悪いからではありません。「自分が悪いのかも…」と自分を責めたりしないでください。どんな理由があっても、暴力を受けてよい人はいません。

女性の約5人に1人が、交際相手からデートDVの被害を受けていると言われています。1人で悩まないで、信用できる人に相談すること、「助けて！」とSOSを出すことが大切です。

もし、親しい人に相談しにくかったら、相談してもダメだったら、専門の窓口にご相談してみましょう。あなたのことやあなたが相談したこと、秘密は守ってくれます。

#### <参考資料など>

「デートDVって？」 内閣府男女共同参画局

「デートDV～あなたの近くにある暴力～」 陸前高田市民生部社会福祉課家庭相談室

「超カンタン デートDVの基礎知識」 かなテラス（神奈川県立かながわ男女共同参画センター）